



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1139 / 2013. 03. 22

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2012～2013 年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2013 年 3 月 22 日 第 1247 回

卓話： ソシエテ ジェネラル証券株式会社
東京支店 支店長 島本 幸治 氏

●前回報告/2013 年 3 月 15 日 第 1246 回例会

卓話：「脳卒中にならないために、
なったときのために」
東京都済生会中央病院院長 高木 誠 氏



卓話紹介：岩上会員

会長報告：

東京渋谷ロータリークラブの松尾英子様、岸野悠久
子様より、カンボジア教育支援チャリティーコンサ
ートのご案内です。

「4 月 26 日(金)18:30～青山学院ガウチャー記念礼拝
堂にてカンボジア教育支援チャリティーコンサート、
特別オペラコンサートを開催
いたします。全席自由 7000 円。」



社会奉仕委員会：(橋本委員長)

1. 本日、皆様にお配りいたしました、週報特集号に
ついて説明させていただきます。2 月 17 日(日)実施致し
ました陸前高田市立第一中学校運動場整備支援の落
成贈呈式は生徒・父兄が 50 名、陸前高田 RC 会員 7
名、東京赤坂ロータリークラブ会員は尾関会長以下 10
名、他学校関係者として校長先生、父母会会長、
報道関係者 2 社等計 70 名が参加された盛大な贈呈式
でした。皆様、特集号をご覧頂き感じられた事と思い
ますが、この学校の中学生達は皆が震災により家族を
失ったりし、心に深い傷を負った子供たちです。しか
しながら子供達は希望に向かってひたむきに頑張っ
ている姿と接しまして私達は感動致しました。是非、
満面の笑みを皆様にお届け致したく「落成贈呈式の模
様を」週報特集号と致しまして作成致しましたのでご

覧頂けますと幸いです。

2. 本日、皆様にお配りいたしましたもう一つは「ロータ
リーの友」3 月号の抜粋記事です。皆様方におかれまして
は既にお読みに成っていると思いますが念のためご披露いた
します。陸前高田 RC の佐々木幹事が書かれました「あの
日から」です。内容は生と死のはざまに始まり、東京赤坂
ロータリークラブ等の支援活動「市民癒しの公園・集会場」
等がこの記事に感謝として書かれております。是非お読み
ください。

3. 風の子会の「障害者と外に出よう」の日程が決まりま
した。5 月 26 日と予備日が 6 月 2 日です。来週から受付を
行いますので皆様の参加をお願い致します。

掲示披露： 100%出席

橋本年男 君(8 年)

飯島規之 君(7 年)



地区親睦ゴルフ予選会報告

相模カンツリー倶楽部で、総勢 86 名の参加。当クラ
ブから、吉岡キャプテン、吉田会員、田村会員、竹本会
員 川邊会員、高須の 6 名参加。団体戦で、無事予選を
通過しました。(15 クラブ中 6 位までのところ 5 位。
千代田 G で 2 位の通過。)

優勝は東京南 R.C で
した。なお、地区決
勝大会は、5 月 13
日(月)レイクウッ
ドゴルフクラブ 東
コースにて開催予
定。(吉岡記)



出席報告： 会員 42 名/出席 27 名 欠席 16 名

ゲスト： 高木 誠(卓話)

ビジター： 松尾英子(東京渋谷 RC)、岸野悠久子(東京
渋谷 RC)、野末源一(東京南 RC)、大野順也
(東京南 RC) 計 5 名(順不同・敬称略)

●次回予告/ 2013 年 3 月 29 日(金) 第 1248 例会

卓話：「紳士の皆さま。」

お口の臭いにお気を付けあそばせ
プライベートデジタルサロン Fukuda MKM
院長 福田 久美子 氏

第一回クラブフォーラム

日時：2013年3月1日（金）13:10～14:30

場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京 地下1階「オーロラ」

テーマ：「クラブの活性化について」

出席者：西澤、田村、尾関、清水、関、高須、小原、入沢、岩上、松本、大日方、吉岡、尾上、村山、橋本、穂苅、吉田、秋吉、小林 計19名

司会：田村次年度幹事

（以下敬称略）

1. 尾関会長挨拶

本日は、皆様のお声を聞いてクラブを良い方向へすすめていければと思います。2月21日第3回クラブ会長幹事会で「ロータリーはクラブが中心である」というテーマのワークショップがありました。レポーターとして特徴あるクラブの現況報告がありました。東京中央 RC は 200 名以上の大所帯のクラブです。このクラブでは辞められた会員を7名、戻したとのこと。3年たつと状況が変化するから、お誘いしやすくなっているそうです。米山友愛 RC は 10ヶ国のメンバーで構成されている。会員で運営しており、ネパールの民族舞踊の奉仕活動を行っているとのこと。東京 I シティ RC は財政にゆとりがなく、地域の方々に認めてもらうことが活動趣旨とのことで、市民まつりの参加など市民の活動そのものに参加しているそうです。その他、米山 RC は平均年齢 37 歳。HP で例会を行なっているクラブ等の発表がありました。何らかのクラブの特徴を出していないと、これからは生き残れない、存続が難しいのかなと気もいたしました。これはほんの一意見でございます。本日テーマ「休会制度」「出席の義務」「クラブ組織の見直し」となっております。これは我クラブで検討していかなければならない事だと思っております。皆様のご意見を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

2. 本日のテーマについて

村山：本日のテーマについてということですが、私は、火曜会でクラブの活性化について話したことをお話いたします。火曜会では、お酒を飲みながら、ざっくばらんに話しあえたらいと思企画いたしました。実際は、休会問題と、出席についてで、1時間30分たってしまいました。まず休会の制度についてですが、皆様からはあまり好ましくないという方向で落ち着きました。この後、以前から懸念を表明されております大日方さんより、詳しいお話があるようなので、そちらをお聞きいただければと思います。出席については、メイクアップのことを知らなかったという話しがでまして、メイクアップについてアナウンスしなくてはということになりました。出席について答えがでるものではありませんでしたが、かなり意識していただけたかなと思います。

（1）休会制度について

小原：大日方さんの書いてあることに賛成です。私も休会制度については、やはり好ましくないと思っております。次年度の千代田 G の会合についても休会制度について話がありましたが、正々堂々と休会制度を行っているのは赤坂 RC のみでした。

大日方：クラブの活性化というのは、正式な言葉では Effective Club という日本語に訳すと「効果的なクラブ」となり、手続き要覧でも決まっていますが、効果的なクラブを作りましょうということです。効果的なクラブとは、1つは結びつきのあるしっかりとしたクラブを作ること、2つ目が地域社会奉仕をする、3つ目がロータリー財団と親しく付き合う、4つ目がリーダーを養成することであり、4つが整ってクラブが活性化することになる。今回は1つだけとりあげてのフォーラムですが、これをやれば活性化することではないことを認識しておいていただければと思います。それでは休会制度

についてお話いたします。（以下、大日方会員資料）

「国際ロータリーの規定に休会の定めはありませんが、例会の出席免除については定めています。それに従って、当クラブでもクラブ定款と定款細則で出席免除を定めています。会員は例会に出席することが義務になっています。年度の半分の期間（6か月）にメイクアップを含めた出席率が 50%に達しない、または 4 回連続して例会に欠席しメイクアップもしていないという場合は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、会員の身分を終結することがある、と定めています。

理事会は、正当かつ十分な理由があると認めた場合は、12 か月を限度として出席免除を認める権限を持ちます。東京近郊に住居があるが海外に常駐して仕事をしているとか、病気で長期療養中のような場合は、正当かつ十分な理由があると言えるでしょう。

会員の年齢が 65 歳以上で、ロータリー在籍年数と年齢を加えた数が 85 以上になる会員は出席免除を申請できるとされています。

クラブの年会費については、国際ロータリーの定めがありませんから、クラブで自由に決めることができます。当クラブでは、定款細則 6 条の 2 節で年会費を定めていますが、75 歳以上でクラブ在籍 15 年以上の会員、85 歳以上で在籍 10 年以上の会員は、申請すれば会費を減額すると定めています。この会費の減額は、退職して収入がなくなった会員の負担を軽くするという目的で設けられた例外的な規定です。出席免除を認めた会員の会費を安くするという規定はありません。

現在休会扱いにしている会員については、改めて理事会で審査して、出席免除を認めるかどうか決める必要があるでしょう。出席免除を認めても会費を減額することにはなりません、会費（入会金を含めて）については、クラブで決めることができますので、総会で決議すればどのようにも決めることができます。出席免除を受けていても、いなくとも、会費を払わなければ会員の身分は終結します。年会費は 7 月の初めに半額を 1 月の初めに残りを支払うと定められています。会員でなくなっても例会に出席できる条件が整えば再入会できます。当クラブでは再入会のときは入会金を支払わなくてもよいとしています。出席については、4 回休みが続いたら、フォローするなどの対策が必要だと思います。会費の滞納については、ここがルーズになったら全体がルーズになってしまう印象があります。

退会した会員との交流

RI は、ロータリアンでない人達との交流を積極的に推進していますが、退会した会員との交流も大切だと言っています。これからは当クラブもロータリー OB との交流を大切にして欲しいと思います。ロータリー OB は、社会経験が豊富な人達です。クラブの地域社会奉仕、社会貢献の活動に参画していただいたり、交流のテーマはいろいろあります。ニコニコボックスの寄付金の一部を使って、例えば、定期的に東京赤坂ロータリー便りのようなものを発行して、クラブの活動や OB の皆さんの近況を知らせたり、一緒に勉強会をしたりするのはどうでしょうか。この企画を、ニコニコボックスの有効活用の一つとして、広報担当と社会奉仕担当が協力して具体化しませんか。以上」

（２）出席義務について

吉岡：当クラブは出席率が千代田 G のなかでも悪い方です。これは休会制度があるためでもあります。これは私たちにも責任があり、新会員の方へロータリークラブのあり方を昔ほどキチンと話していないことが出席率の低下につながっていると思います。今後はキチンと話していかななくてはならないと思っております。当クラブは都心の中心にあり環境的にも恵まれているので、新会員を増やし、ロータリーのあり方をキチンと話していければいいと思う。

（３）クラブ組織の見直しについて

田村：昨日、次年度の理事役員会があり、委員会組織を決めました。今まで 18 委員会ありましたが、現在的人数で 18 委員会を回すのは不可能ということと、内容のダブっている委員会があるのではないかといいことで、見直しをして、次年度は 6 委員会にしました。委員長のもとにリーダーをつけてやっていく形をとります。機能として足りないのは、新会員に対するフォローだと思います。今までは新会員に対しては、ロータリー情報委員会が情報を教えるというかたちで行なっていたかと思いますが、次年度は、新会員を研修する委員会を研修委員会とし、会長経験者を全て委員とするくらいの意気込みで、新会員のフォローをしていくような組織、仕組みでやっていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

４．自由討議

小林：例会を活性化するのは、会員同士の連携がとれているかというのが基本で大切なことだと思う。新会員が入ってきた場合、知り合いは紹介者しかいない。初めの 1 回、2 回は紹介者も気を遣うが、紹介者にも自分の都合があり、だんだん放り出されてしまう。そうなったときに、例会に出ても所在がないという気持ちにならないようにすることが、先輩会員の役目であり、それぞれの会員が気を使わなくてはいけないと思う。個人個人の問題となると、やはりマチマチになってしまうから、システム的に行うと良いと思う。例えば新会員となると同時に、SAA、親睦委員というように役割をつけると、交流も深まるので随分違うと思います。

関：休会制度についてはイメージがつかなくコメントしにくいのですが、大日方さんのおっしゃっていることに異論はありません。出席率については、私はあまり出ていないので、言えないのですが、ロータリーの出席率のルールについては、あまり頭に残っていなかった。こういったことを先輩方からお話いただけるとありがたいと思います。例会に出ていない方は、出られない理由が一律ではないので、個々のフォローが必要だと思う。そもそも出席のルールについて入会のときに知らずに入ってきているのですが、人生の優先度でいうとロータリークラブは、4 番目あたりにあるので、もし入会のときに、この出席のルールのことを知ったら、入っていなかったかもしれない。ルールをあまり拘り定規的に適応することにより、入れないとか辞めてしまうかもしれないと思いました。

秋吉：私のようにサラリーマンで、会社で入らせていただいている人間は、まじめに出席して会費はらっていれば良いのかなとも思っております。ロータリーという団体は非常にブランド力があると思います。これだけ世の中の価値観が多様化して、いろんなコミュニティがすぐにできる状態の中で、これだけの歴史を刻んでいるということは、ある程度厳格なルールのもとに集まっている人たちがつくっている組織だからではないかと思っております。具体的に休会や出席について言及するわけでないが、ある程度厳格に運用していきながら、そこに対応できる形式の皆様でロータリーというのは運営されたほうが、ブランドが継続

できるのではないかと思います。

松本：休会制度の有無については大日方さんのおっしゃるとおりだと思います。出席の義務については、例えば休会制度をとったために売上高が風化していて、利益率である出席率が低くなっているという話ですから、本来の姿に戻してきちんとした数字で示すのがいいのではないかと思います。ロータリーに対する姿勢ですが、出席とも結びつくのですが、私もサラリーマンですが、地方のロータリーですと会社の支店長などサラリーマンは転勤でいなくなるため、地元のロータリアンと上手くはいくが扱いが違うことがあり、赤坂 RC も独立経営のオーナー社長が多いので、若干そのようなことがあるのかなと感じることがある。入るときは楽しそうだということで入りますが、実際はやるが多くて大変になり抵抗感がでてきてしまう。そこで、私が決めたのは、昼の例会だけは出ると最低限の義務を決めて、後は余裕があったり、言われたらやるという姿勢で、仕事を優先にやっていこうということです。サラリーマンということからも、どこまでやるのかということ悩むところですし、プライオリティも微妙に違う。新会員にたいしては、最初からこれと仕事を決めず、仕事をローテーションするというやり方もあると思う。組織的に考えるのは、会社だったらと考えていくと、同じ人が同じようにコアのメンバーでやるのはわかりますが、1 年ごとに社長が変わるような感じなので、後継者を各層で訓練、教育していくことは必要なのではないかと。10 年後を考えたときに支える層を残すということをやらないと、組織作りでは行き当たりばったりになってしまう気がします。

尾上：休会制度については、「ロータリーやめたい」「何とかとどまって」「休会制度もあるし、なおかつ年会費も安いから」という安直な考えで始まった。冷静に考えると、休会制度自体は良い制度ですが、年会費とは切り離して考えるべきだと思う。休会＝安くなるというのは間違っていると思います。出席義務については、年代的によって考え方が違う。やはり、40 代 50 代前半は、忙しい時期ですから、多めに見てあげればいいのかと思う。クラブ組織については、新しい案を見ましたが、シンプルでよいと思いますが、委員長の負担が多いように思う。サブリーダーががんばっていただいて委員長の負担が少なくなればいいなと思います。

橋本：休会制度については、吉岡、橋本年度のときに休会者の会費を値上げた結果、財政負担がかからなくなったこともあるので、現在休会の方も非常に大切な方々ですから、休会制度をなくすことにより辞めてしまうことになる可能性もあるかと思うので、慎重に考えるべきだと思う。3 年未満の新会員の方々を集めて勉強会をやるユーモア会を復活させて、出席の義務について等を教えていけたらいいのではないかと思います。クラブ組織の見直しについては、賛成です。しっかりした構築が必要かと思っております。

岩上：休会制度については、渡部一元さんが 1 年間のみアメリカに行ったことが始まりです。渡部さんは戻ってこられましたが、他の休会の方々は戻ってきていない。そのことを考えると、経済的なことも含め、廃止したほうがよいと思う。大日方さんという本来の意味に立ち返ったほうがいいと思う。出席についてですが、私は出席については理解して入りましたが、新会員のときはやはりどうしても馴染めないことから、休んだりしました。そのときに、仲間をいれようということで、尾上さんや石井さんが入る事で出席するよにもなりました。入会をお誘いするときに、できる限り出てね、という形で申しますが、本来のロータリーは出でなければいけないと思うし、それをないがしろにする組織は崩壊するのではないかと思います。ヤフーは、在宅から会社に来て顔を合わせてミーティングして業績を

3月 火曜会報告

上げようということに立ち返るそうですが、やはり毎週皆と会うということは大切だと思う。ユーモア会についてですが、芝 RC の青芝会の冊子をいただき当クラブ用に作り直そうとして、8割ほどできているので早々に完成させたいと思う。ユーモア会などできるだけ早くに復活させて、新会員を対象にした勉強会を開催し、ロータリーのことを教えてあげれば良いと思います。

入沢: 休会制度については、規定にはないのですが、規定にないことをやると緩むかなと思います。直ぐに決断するとなると退会者を増やしてしまうので、ハードルを高くすると思う。義務感ばかりを話して、義務だけを押し付けても、嫌になってしまうのではないかなと思う。火曜会や、車椅子を押したりと、身体で入っていくのがいいのではないかなと思う。ロータリーに入るときにそれなりに覚悟して入ってきたが、現在は、昔の雰囲気とは違ってきているので、忙しい人に敢えて研修会を開くとなると難しいように思う。やはり、火曜会や社会奉仕といった行事参加して、交流を図ることがいいのではないかなと思う。

高須: 休会制度については、この際この制度をやめるという方向で、現状休会の方は、大日方さんの言うとおりで、事情を確認して、理事会で確認したりと見直しが必要だと思う。出席については、例会の出席が少ないと卓話の方に申し訳ないと思うし、代わりにやってくれる方に申し訳なく思ったりします。もう少し義理人情で考えていければと思う。会員同士の人間関係として、声をかけ合ったりという日頃のベースが必要と感じている。過去出席委員会があり、地区のガバナー月信にでている出席率の発表をしておりましたが、そういったことをまたやっていけば良いのかもと思います。組織の見直しは賛成ですが、サブリーダーの方々に運用していく必要があるように思います。

ジョン: 休会制度は、事情がある方もあるので、あってもいいと思う。出席の義務については、金土日は稼ぎ時なので、なかなか皆出席ができない。毎週これらようになったら、仕事がなくなったときだから、どっちにころんでもあまり嬉しくない。出席についてですが、辛いなと思う方もいると思うので、もう少しゆるキャラにしてもいいのかなとも思います。とにかくお金だけ払ってよ、という会員がいてもいいのではないかなと思います。

石井: 休会制度については、退会予備軍ですから、そういう認識で考えたほうが良い。入会して14年ですが、14年前と今では雰囲気が違うので、研修研修とやらないほうが良いと思います。火曜会は、個室でやるので色々な話もできますし、お酒も入りますし、研修まではいなくても、そこでアドバイスしていければ良いと思います。ロータリーを楽しくするには3年くらいかかると思う。クラブの魅力ということであれば、例会の充実、卓話の充実が大切だと思います。

吉田: 大日方さんのおっしゃるように、休会制度という制度はなく、出席免除規定と、休会とは別である。また出席免除と会費は別である。休会制度は廃止しなければならないが、出席免除はあっていい。その時に会費については、総会で決めることであっていいと思う。年会費は全額収めなければ出席免除にならないということではない、と理解しております。出席は、権利と考えたらいかがでしょうか。せっかく素晴らしい卓話が、この場所で聞けるというのは、ロータリアンでなければこの権利はない。メイクアップ制度については、他のクラブに比べて、他のクラブの方々を付き合えるという権利だと考えれば良いと思う。他のクラブの会員と仲良くなるし、これもロータリアンでなければできない。あまり厳格には言わないが、50%以上

今回は清水さんより、オペレッタについてのお話をプロジェクターでの動画を見ながらご説明いただく、とても文化の香り高い火曜会となりました。オペレッタ、オペラ、ミュージカルと、どのような違いがあるのかと、出席者からの積極的な質問に、清水さんがとても分かりやすく解説してくださいました。チェコで華やかに行われたオペレッタの公演の動画にみなさん魅入っていました。そして、このような文化活動には改めて費用がかかる現実も知り、文化を育むことへの根気と寛容さが不可欠であることを痛感しました。

参加者: 尾関、飯島、村山、清水、西澤、吉岡、高須、入沢、橋本、田村、岩上、石井、秋吉、藤井、尾上



3月 15日(金) / 13件 30,000円

累計 825,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

東京渋谷RC 岸野悠久子、松尾英子/本日は貴重なお時間を頂戴してチャリティーコンサートのご案内にお伺い致しました。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。尾関武男/家族全員で済生会中央病院にはお世話になっております。本日、高木先生卓話宜しくお祈いします。岩上義明/高木先生、本日の卓話宜しくお祈い致します。西澤民夫/花粉症で体重が落ちないかしら?高木先生、本日の卓話楽しみにしています。清水實/今年花粉は早く初まり早く終わるようで。これは良いこと?飯島規之/皆出席7年出来ました。メイキャップなど皆様の御指導ありがとうございました。穂苅さんお疲れ様。橋本男/穂苅さんニコニコご苦労様です。陸前高田市第一中学校の落成贈呈式の残金として。佐藤仁/日本顎顔面インプラント学会指導医になりました。今後とも宜しくお願いします。吉岡琢磨/穂苅さんニコニコご苦労様です。地区ゴルフ大会予選突破しました。参加の皆様ありがとうございました。高須康有/地区ゴルフ予選大会無事通過しました。Aクラスメンバーでがんばりました。尾上さん、吉岡さん、先日はお世話になりました。小林博茂/寄る年波に寒さはこたえました。サア春ダ、背スジを伸ばしてガンバリましょう!穂苅さんニコニコありがとうございました。土屋東一/穂苅さんニコニコご苦労様です。穂苅裕久/ようやく春、来週は開花宣言が開かれるとか…本日も沢山のニコニコありがとうございました。

は出席したほうが良いと思います。岩上さんの手引書を是非完成させていただいて、新会員に読んでいただければと思います。新会員の方へは、理解を深めていただくという姿勢で望んでいただければ良いのではないかなと思います。清水:すでに吉田さんがお話ししてくださったことと同じですが、出席免除と会費は別の話しであり、あくまでも病気や、海外勤務になどの場合に出席免除が適応されるということで、会費についてはまた各クラブで決めてよいということで柔軟に対応していければと思います。今日はありがとうございました。(完)